



# 会報

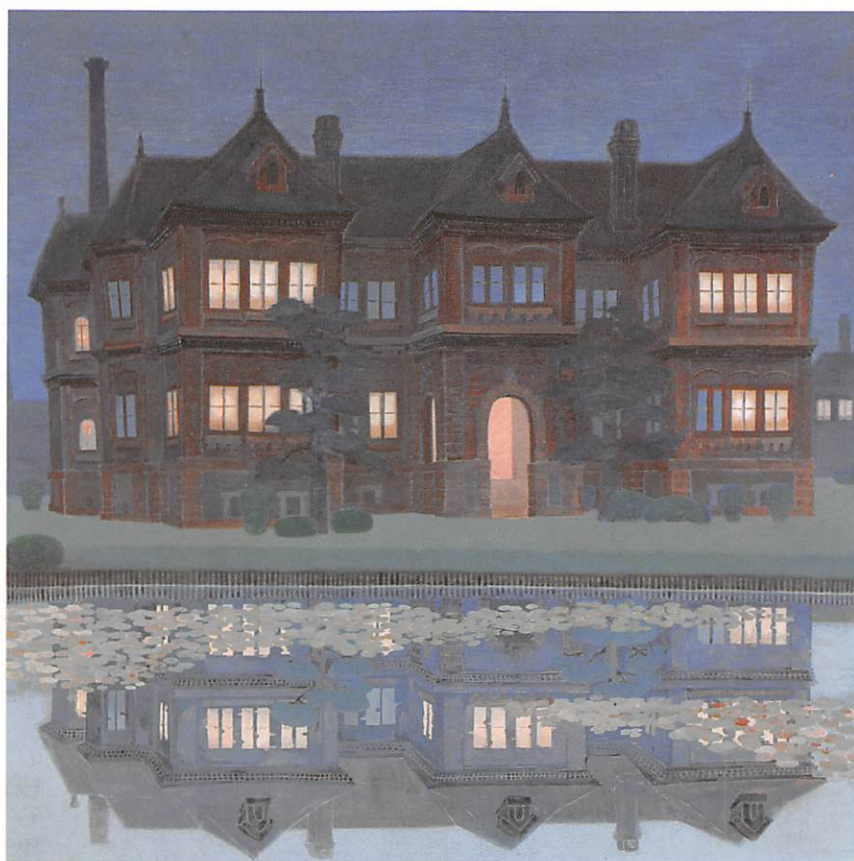
第31号

平成9年8月

## アルテピア

社団法人 北海道美術館協力会

札幌市中央区北1条西17丁目 電話011-644-4025



### 本間 莞彩 《道 庁》

昭和27年 第37回院展  
177.3×177.3cm (北海道立近代美術館蔵)

「赤れんが」の愛称をもつ北海道庁旧本庁舎。明治21年の創建時にみられた建物中央部の八角塔ドームは7年後に取り外されたが、昭和43年、火災後の修復を機に復元された。ここに描かれたのは、昭和27年当時の八角塔がない赤れんが。夕やみのなかに重厚なたたずまいが浮かび、窓にともる灯りが暖かみを添えている。抒情ただよう夕暮れの景観は、現在、観光名所として知られる赤れんがのイメージとは大きく異なるが、それは時の流ればかりが理由ではなく、なにより莞彩

ならではの繊細鋭敏な感性に由来するものだろう。

本間莞彩（明治27～昭和34年）は、戦後まもなく北海道日本画協会を創立し、道内日本画壇の牽引者として活躍した。昭和23年から亡くなる前年まで、連続11回の院展入選を果たしており、本作も入選作のひとつ。初入選から6年間は、画家自身が暮らす札幌の街並みに取材しながら、繊細微妙な色彩と巧みな構図によって抒情ゆたかな風景画を生み出した。いずれも、今は見られない懐かしい札幌の肖像である。

# 20周年を迎えて



北海道美術館協力会

会長 武井正直

美術館協力会が社団法人として、発足するときの設立趣意書には、「美術館の真の価値は、その建物だけでなく、そこに展示される作品の質量の豊かさや、館の内外で考えられるさまざまな美術についての普及活動にあると思います。道内の美術館が、住民に対し、満足を与えるような計画を力強く実施するためには、それをとりまく住民の高い関心、十分な財源など、多くの条件が必要となります。美術館が、より高い美術文化を広く住民に提供し得るよう、社団法人北海道美術館協力会を設立し、道立の美術館等の事業活動に協力するとともに美術に関する道民の知識と教養の向上を図るために必要な事業を行い、もって本道美術文化の振興発展に寄与しようとするものであります。」とあり、この文章の後段を現行定款の目的として、はや創立二〇周年を迎えることになりました。

今日までの当協力会の活動は、

試行錯誤の連続ながらも、地道に一步一步進んでまいりましたが、振り返りますと幾多の険しい山をよく乗り越えてきたものだと感じ無量のものがあります。

この二〇周年を記念して、すでにいくつかの記念事業が展開されておりますが、この記念事業は当協力会の知名度を高めること、会員の拡大を図ることの二つを目的としております。勿論、この目的達成は大事ですが、その前に、美術館は道民の心を豊かにするために存在するものであり、共に楽しむための施設なのですから、これを支援する我々も、もっと親しめる、楽しめる場としての協力会にさらに発展していきたいものです。

極端な言い方ですが、「心に豊かさ」がなければ協力会の活動も生きたものにならないと思います。

二〇周年を契機に、前途は厳しいが、皆様と共に「心を豊かに」頑張りましょう。

## 20周年記念に慶び

去る六月二二日名寄市で開催の第三六回北海道博物館大会において、当協力会が「北海道博物館協会表彰」を受賞しました。

顕彰理由は、「道立美術館等の事業活動に協力すると共に、美術に関する道民の知識と教養の向上を図るため、ボランティア活動は多岐にわたり、全国の美術関係者から高い評価を得ている」でした。

更に七月五日道立近代美術館講堂で開催の同館開館二〇周年記念式典において、南原近代美術館長より感謝状の贈呈がありました。その趣旨は、

「昭和五二年の発足以来、道立の美術館などの活動を支援することにより本道の美術文化の振興発展に寄与され、その歴史は当美術館の歩みとともに在り、ボランティア活動をはじめとする諸事業の展開が果たした役割には計りしれないものがあります。開館二〇周年を迎えるにあたり、深く感謝の意を表します」でした。

この重ねての顕彰は、これまでの地道で多岐にわたる事業活動が評価されたもので、協力会創立二〇周年の輝かしい記念であり意義深いものです。

会員の皆様をはじめ、創立以来の関係の方々、そしてボランティアの皆様にとって大きな喜びです。

# 良きパートナー として20年



北海道立近代美術館

館長 南原一晴

北海道美術館協会創立二〇周年おめでとうございます。道立近代美術館の開館と同時にスタートした美術館協会が、道立の美術館などの活動を支援することにより、いかに本道の美術文化の振興発展に寄与されてきたかは、ここにあらためて申し上げるまでもありません。去る七月五日に、道立近代美術館の開館二〇周年記念式典が開催されました。そこで一個人、二団体に感謝状を贈呈させていただきましたが、そのなかにはもちろん、美術館協会の名がありました。

美術館協会の歴史は、道立近代美術館の歩みとともにあったといっても過言ではありません。その間、実に多くの協力をいただきました。たとえば開館一〇周年の折り、美術館協力は「北海道に名画を贈る道民の会」の事務局として募金運動の推進を図るとともに、コンサートなどの協賛事業を精力的に展開しました。

こうした節目の事業はもとより、私たちが忘れてならないのは、日頃の美術館における活動だと思えます。解説、売店、広報など多岐にわたるボランティア活動です。年平均活動延人員が五、七〇〇人を超えると言われているボランティア活動は、私どもの美術館が全国に自慢できることの一つです。

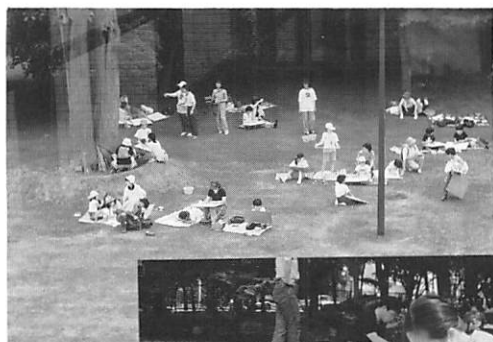
感謝状は、長年にわたる良きパートナーへの心よりの感謝をかたちに表したもののなのです。美術館協会は、「友の会」組織とは全く別の理念で出発しています。自立と連携の精神がその基本にあります。この二〇年間、全国にほとんど前例のないことを自らが考え、そして実行していかねばならなかったはずですが、こうして築いてこられた伝統の上に、今また新たな第一歩が踏み出されるわけです。大きな期待を寄せるのは私一人ではないでしょう。

## 「協会20年のあゆみ」

年月	事項
昭和52年3月	北海道美術館協会設立準備実行委員会発足
53年6月	北海道美術館協会設立総会
54年7月	（北海道立近代美術館開館） 売店活動開始 美術講座開始
54年8月	法人化「社団法人北海道美術館協会」
55年11月	第一回海外研修旅行
55年12月	会報「第一号」発行
56年4月	駐車場管理事業開始
56年6月	駐車場管理事業開始
57年4月	駐車場管理事業開始
58年1月	駐車場管理事業開始
58年7月	駐車場管理事業開始
59年12月	駐車場管理事業開始
60年4月	駐車場管理事業開始
60年9月	駐車場管理事業開始
61年1月	駐車場管理事業開始
62年1月	駐車場管理事業開始
63年6月	駐車場管理事業開始
平成9年9月	駐車場管理事業開始
10年3月	駐車場管理事業開始
11年3月	駐車場管理事業開始
12年3月	駐車場管理事業開始
13年3月	駐車場管理事業開始
14年3月	駐車場管理事業開始
15年3月	駐車場管理事業開始
16年3月	駐車場管理事業開始
17年3月	駐車場管理事業開始
18年3月	駐車場管理事業開始
19年3月	駐車場管理事業開始
20年3月	駐車場管理事業開始

# ANNIVERSARY

## —北海道美術館協力会20周年記念事業—



### 気分は芸術家! 青空写生会

創立20周年事業のトップをきって晴天に恵まれた七月二日(土)「青空写生会」を実施した。

近代美術館と三岸好太郎美術館の庭で、約200名の親子が思い思いの場所を描いた。

テーマは「あなたの好きな美術館」。作品は八月五日〜一〇日まで市資料館ミニギャラリーに展示され、美術館協力会会長賞等五名、奨励賞一〇名、努力賞一〇名の表彰があった。

### 美術のみの市 一〇月一〇日開催

八月一〇日(日)予定されていた「美術のみの市」は、あいにくの台風による前日からの雨のため、やむなく中止となった。

「自認する美術」を出展の規定のひとつとして企画した「のみの市」への出店希望は、協賛店も含めて九〇店と反響が大であったことと内外からの要望の強いこともあり、改めて一〇月一〇日(体育の日)に開催することとなった。

## これから

### 渡辺淳一氏を迎えて 一二月一五日に特別講演会

今、全国的に話題となっている「失楽園」の著者、渡辺淳一氏の特別講演会を、一二月一五日(土)一時半より道新ホールにて開催する。演題は「私と小説」。入場無料。ただし整理券必要(配布場所)近美売店・アルテピア事務局・道新本社受付。

### 記念祝賀パーティ 一二月二〇日

創立20周年を迎えるの祝賀パーティをホテル・ライフォートで開催する。

この席で「学生美術全道展」の最優秀者一名に対して、美術館協力会より当会企画の海外美術研修旅行の副賞が贈呈される。

### 近代美術館所蔵名品展 共催

一二月二日から

近代美術館が開館20周年を記念して開催する「近美コレクションの精華」展を共催する。

会期は一二月二日(土)から十二月一四日(日)まで。

また、この展覧会を記念して近代美術館編集の「北海道立近代美術館所蔵名品図録」を発行、一・二階売店で販売中。

### 「美術秀作映画会」開催 一二月二三日

さっぽろ映画フェスタ'97に後援として参加する。

一〇月上旬より前売券発売予定。

# MUSEUM CALENDAR

1997. 9月～1998. 3月

## 美術館の展覧会ご案内

	9	10	11	12	1	2	3	
近代美術館	8/23～9/21 日本の美	10/1～11/16 ガラスの新世紀   世界20作家の挑戦	11/22～12/14 近美コレク ションの精華	12/20～2/1 A☆MUSE☆LAND		2/6～3/15 棟方志功の世界	貸 館	
旭川	8/23～9/21 幻の桃山 江戸コレク ション	9/27～10/26 いす 100のかたち	11/1～12/21 絵画と平面 ※		1/6～2/1 現代木彫 の展開 ※	2/7～3/29 アミューズランド'98		※ 開館15周年 記念所蔵 名品展
函館	8/26～9/20 比田井天来 とその展開	9/27～10/26 日本の美 雅の世界 ※	11/1～12/7 ピカソ 愛と エロチシズム	貸 館 行動展	1/6～2/1 棟方志功 の世界	2/7～3/22 道南の美術		※ 平成9年度 国立博物館 美術館巡回展
帯広		9/15～10/16 浮世絵の中の 美人たち	10/25～12/7 マルク・シャガール展	12/13～1/25 知られざるインド 更紗展		1/31～3/29 自然の中の画家たち		
三岸好太郎	7/25～10/5 所蔵品展	10/10～11/30 抒情の街・札幌		12/4～3/29 所蔵品展 詩情と幻想－夭折の画家の生涯				開館20周年
札幌彫刻	平成9年度後期収蔵品展		11/8～12/7 豊福知徳 彫刻展	平成9年度後期収蔵品展 本郷 新 彫刻 627点 絵画 668点 の中から				
札幌芸術の森		9/13～11/3 坂野守コレクション		11/9～1/11 所蔵品企画		1/24～3/29 芸術の森美術館 所蔵品展		

# MUSEUM

## INFORMATION

平成9年度下半期の展覧会の中から、各館が推薦する事業をお知らせします。

今年は、近代美術館と三岸好太郎美術館が開館20周年を迎えます。

また、旭川美術館は15周年です。

函館美術館では、平成9年度国立博物館美術館巡回展も開かれます。

## 近代美術館

The Glass Skin

### ガラスの新世紀

#### ―世界二〇作家の挑戦―

多様化するガラス芸術の今日的な成果をあらためて問い直す試みとして、〈ガラス・スキン〉をテーマに世界二〇作家の新作・最近作七〇余点を紹介します。

ガラス作品の表面すなわち〈ガラス・スキン〉と、それが包み込む内部との不可分の関係は、ガラスが光の透過性や可塑性といった特有の性質をもつゆえに、造形的にも表現の内容の上からも作品の重要な鍵を握っているといえ



行武治美「無題」(部分)

ます。

このたびの展覧会ではこの点に深い洞察力をもって果敢な表現を試みる作家を厳選し、それぞれの仕事の特徴を

もっともよく示す作品を選びました。二〇人の作家たちの独創的ダイナミックな造形世界は新たな発見と感動を与えてくれるでしょう。

## 旭川美術館

いす100のかたち―

### ヴィトラ・デザイン・ミュージアムの名品

九月二十七日(土)〜一〇月二六日(日)

ヴィトラ・デザイン・ミュージアムは、ヨーロッパを代表する家具メーカー(スイス)が、一九八九年にドイツ南西部の小さな町ヴァイル・アム・ラインに設立されました。ドイツ、フランス、スイスが国境を接するところであり、近くをライン川が流れるこの美術館には、世界有数の近代、現代の家具コレクションが收藏されています。

今回の展覧会では、その中から、イスを中心に一〇〇点の作品が選ばれて

出品されま

す。アルヴァ・

アールト、

ル・コルビュ

ジエ、ジオ・

ポンテイ、

リートフェ

ルト、トール

ネット、ヴェ

ロバートウエン

チーリ「クイン

ンチュエリらの

名作や、喜多

俊之、倉

俣史朗、柳宗

理など日本人

デザイナーナ

ーによるすぐ

れた作品が紹

介されます。

実際、この展

覧会をご覧

いただければ、

イスという身

近な家具の多

彩なデザイン

の可能性に驚

かれること

でしょう。

この展覧会

は、ヨーロッパ

、日本、ア

メリカ、オ

ーストラリア

で開催される

世界的な巡回

展の一環です。

ぜひこの



## 函館美術館

### 「棟方志功の世界」展

今年度の下半期、当館では国立博物館・美術館巡回展、ピカソ版画展に続き、「棟方志功の世界」展(一月六日(二月一日)が開催されます。

津軽生まれの「世界のムナカタ」は、対岸に位置する道南地域では、ひとときわ熱い関心を持たれる画家の一人といえます。七年程前に開催した「棟方志功と津軽の美」展でも、そのことは示されました。他に例を見ない独創的な作品のみならず、作品に立ち向かうその凄絶なまでの姿勢は、これからも時

代を超えて多くの人々の心をとらえることでしょう。

今回の展覧会では、「版画」と自ら読んだ初期から晩年にいたる木版画に加え、初期油彩画や肉筆画、装幀本、さらには志功のポートレートや書簡、映像等も用意し、作家の人間像をも含めた、棟方芸術の本質に迫りたいと思います。



棟方志功「釈迦十大弟子」

## 帯広美術館

太田記念美術館所蔵

### 浮世絵の中の美人たち

北海道立帯広美術館では、九月一日(月)から一〇月一六日(木)まで、「浮世絵の中の美人たち」を開催します。江戸時代には、庶民が文化の担い手として登場し、町人文化が大きく華開きました。芝居小屋や遊廓、そして祭



喜多川歌麿「婦女人相十品 文よむ美人」

りなどの年中行事の場に入々が集い、華やかな大衆文化を形成しました。そうした当時の社会風俗を描き出し、広く流布したのが浮世絵です。とりわけその主要な画題の一つである「美人画」は、吉原遊里の花魁を始めとする遊女や芸妓、あるいは商家の女房や評判の町娘など市井に生きた女性の姿を描いており、この時代の空気を色濃く伝えていきます。

今回の展覧会では、日本でも屈指の浮世絵専門の美術館として知られる太田記念美術館が所蔵する肉筆、版画、木春信の描いた可憐な女性像、喜多川歌麿の艶やかな遊女や町娘、歌川国貞や溪斎英泉の粋な美人たちなど一五〇点の作品により、浮世絵の歴史を通観するとともに、時代ごとの風俗や美意識、そして女性像の移り変わりを紹介します。

## 三岸好太郎美術館

特別展

「抒情の街・札幌―三岸好太郎と札幌を描いた画家たち」展

一〇月一〇日(金)―十一月三〇日(日)

札幌生まれの三岸好太郎は、故郷の街をこよなく愛し、画家をめざして上京した後も、たびたび札幌を訪れてはその風景を作品にしています。大通公園や植物園など、札幌のシンボルともいえる場所を題材にした作品では、豊かな自然の中にエキゾチックなたたずまいをみせる古き札幌の姿がのびやか



三岸好太郎「大通教会」

に描き出されています。本展は、三岸をはじめとして有島武郎や能勢真美、久保守、俣野第四郎ら、札幌ゆかりの画家の作品を通して、大正末から昭和戦前期にかけての札幌の風景を紹介するとともに、その街との出会いが画家の芸術にどういった意味をもったかを探ろうとするものです。

## 札幌彫刻美術館

一九五〇年、東京に初めて裸婦を野外に置いた本郷 新は、戦後日本における野外彫刻の第一人者といわれています。このような本郷 新の偉業を記念して、「本郷 新賞」は一九八三年に創設され、その後隔年で開催してきました。

本年度「第八回本郷 新賞」は、一九五五年一月から一九九六年一二月までの二年間に、日本全国の公共空間に野外設置された作品を対象として、全国的美術関係者に候補作品の推薦を依頼しましたところ、二七点の作品が推薦されました。これら推薦作は、選考委員

会において厳正な審査が行われました。その結果、受賞作は、福岡県博多港中央埠頭緑地モニュメント広場に設置された豊福知徳制作の「那の津往還」に決まりました。

この受賞にあわせて、受賞記念展として「豊福知徳彫刻展」を、十一月八日(土)から



豊福知徳「那の津往還」

十一月七日(日)まで開催します。展覧会では、本彫作品を中心に受賞作の関連資料とあわせてご紹介します。

## 芸術の森美術館

ある個人収集家の眼

―坂野守コレクション展―

九月一三日～十一月三日

坂野守コレクションは、坂野守氏(昭和一生)が昭和二十年代後半から本格的に始めたものです。やがて今田敬一著『北海道美術史』に登場する作家の作品を集めるよ



田辺三重松「洞爺湖晩秋」

うになりました。収集は今日まで四十年以上にわたって続けられ、油彩画を中心に版画、水彩画、色紙や彫刻など総数にして千点を優に超すに至っています。このコレクションは過去二度、坂野氏自身によって「北海道美術史を彩った作家たち展」と題して札幌市内のギャラリーで紹介されました。氏の見によって選ばれたコレクションの一点一点に目を向けることで、作品の質や氏の作品に対する価値観といったものに近づくことができます。そこに、個人が美術品を収集することの魅力を感じ取ることができるのかも知れません。本展は、厳選された一点一点が放つ作品としての力に注目し、個人収集家が惹きつけられた美術品の魅力に目を向けてみようとするものです。

## 銀おじの胡瓜



蔵本 敏郎

「宗匠は御在宅か——」

玄関の古風な訪いの声は毎年初夏から秋口まで寄宿する漂泊の俳人銀蔵さんである。幼少期を祖父五岳堂松翁の家で育った私は一風かわった銀おじが好きで、いつも誘いだしては野山に遊び呆けた。銀おじは時々画帖に畑の果実を写し始めることがあり、その真剣な眼差しに声をかけそびれて終るまで傍で待つのであるが、つい眠り込んでしまい彼に背負われて家に帰るのが常であった。

秋、銀おじが発った朝、彼の色紙を前にして祖父が「落款からみるとこの胡瓜は立ち姿じゃ。銀は妙な図を描くの」と首をふった。私は銀おじが噛まれたのが口惜しくて「畑の胡瓜はこんなふうになら下っているのだ」と言い張り、とうとう祖父も「もうよろし、銀が聞いたらさぞ喜ぶことじゃろ」と降参してくれた。次のとし何故か心待ちの訪れはなく、その後の消息も途絶えてしまったのであるが、銀おじと胡瓜の記憶は私の体温の中に甘やかに残った。

# 近き美

今回から、エッセイは「美術」に関する内容をお願いいたしました。

身近な“美”から壮大な“芸術”まで心に感じた素敵な思いをつづっていただきました。

これからも、会員の皆様からのお便りをお待ちしております。

## 感動を求めて



古川 珠枝

東京から転居して二年。知人からは「転勤でも郷里でもない札幌へどうして？」と、不審な顔で聞かれる。一口に答えられない私は「北海道が好きだから」と、言うしかなかった。広い道路に美しい並木。紅葉するナナカマドが冬は可愛い実を付けてその上に降る白い雪。千歳より程近い勇払原野では、三百六十度のどかな大自然を観る。春、北へ帰る雁の

群れが夕映の空一面に頭上を舞う。芸術の森に点在する彫刻。ヴィーゲン展は、自然と人間の生命とが融合して印象深い。近代美術館での松樹路人展は、北海道を表現している絵に興味を感じた。美術研修の旅では、七飯町にある木村画伯の作品を展示する私設美術館は、自然と調和して美しい。御遺族が工芸作家として美の心を受けつがれ、生活と芸術的空間が一体となつて、観賞する私たちを和ませて下さる素敵な美術館だった。私には、これからも、美と感動を求める旅が続くであろう。

## 旅・出逢い



原田 信隆

先日、ふらりと旅行に出たくなりイタリアへ約一週間の日程で出かけた。僕は、「まち」をみるのがとても好きだ。日本の「まち」は福岡でも仙台でも札幌でもその個性的な表情がだんだん薄らいで画一化して来ている様に感ぜられる。これも情報化のなせるわざなのだろうか？

「まち」の個性は一体どこへ？ それぞれの「まち」独特の「風土」すなわち風のささやきと土のにおいは一体どこへいったのだろうか？

ローマ・ミラノへ到着した。古いものと新しいものをうまく取り入れた「まち」の風景がそこにはあった。芸術とは到底縁遠い僕は、出逢ってしまったのだ。ミケランジェロの「最後の審判」とダビンチの「最後の晩餐」であった。

何という事か。ただただ立ちつくすだけだった。

歴史と風土とがこれらのものを今日まで伝え、そして今でも息づき、時を積み重ねてゆく素晴らしい事件に出逢った。

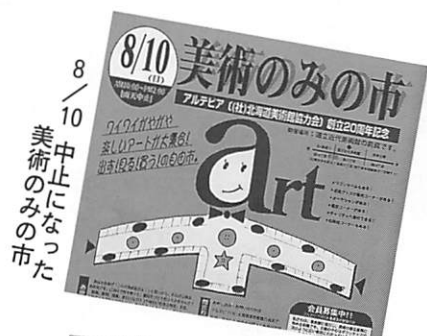


# 新会員紹介

—ご入会ありがとうございました—

平成9年1月～7月  
(敬称略)

- |    |     |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1月 | 札幌市 | 外矢高北 | 山嶋橋 | 枝予子 | 子予子 | 美昭洋 | 花里  | 和美  | 三清  | 仲博  | 千朝  | 鶴道  | 和美  | 幸佑  | 布正  | 麗量  | 和幸  | 悦し  | 明亀  | 道良  | 梅邦  | 敏昭  | 浮賢  | 明敏  | 力美  | 和子  |     |
| 2月 | 札幌市 | 札幌市  | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 函館市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 |
| 3月 | 札幌市 | 札幌市  | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 |
| 4月 | 札幌市 | 札幌市  | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 |
| 5月 | 札幌市 | 札幌市  | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 |
| 6月 | 札幌市 | 札幌市  | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 |
| 7月 | 札幌市 | 札幌市  | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 | 札幌市 |



6/11 チラシ街頭配布

ボランティア活動  
A・RE・KO・RE

20周年記念事業に向け、ボランティア174名が心をひとつに活動しています。



記念のTシャツ



7/12 青空写生会

# 事務局だより

## 平成9年度総会開かれる

「平成8年度収支決算と

今年度の事業計画・予算に

ついて」

去る六月四日道立近代美術館講堂において平成九年度の通常総会が開催され、出席会員から質問や建設的な意見が活発に出されるなど充実した議事進行の中で、平成八年度の事業・収支決算、平成九年度の事業計画・収支予算がそれぞれ原案通り承認可決されました。その概要について、ここでは見やすく表を組み替え、重点項目を中心に報告します。

平成八年度分について、表一のとおり「収入の部」では、売店会計・駐車場会計ともに予想以上に売上げ等が伸びて収入増になりました。

「支出の部」では、事務所移転の諸経費や会員証利用観覧料負担等が支出増でしたが、駐車場会計で土地の賃借料が本年度に限り免除となり、時期繰越額を出す事ができました。

また、創立二〇周年記念事業の事前準備のため、美術振興基金から一〇〇万円取崩して充当し、約四〇万

(表1) 平成8年度収支決算総括表

(単位円)

収入の部					支出の部				
区分 科目	合計	一般会計	特別会計		区分 科目	合計	一般会計	特別会計	
			売店会計	駐車場会計				売店会計	駐車場会計
基本財産収入	68,500	68,500	0	0	事業費	61,230,921	12,021,873	34,101,540	15,107,508
会費収入	14,329,000	14,329,000	0	0	管理費	6,164,450	6,164,450	0	0
事業収入	54,512,152	1,645,632	34,897,791	17,968,729	特定預金支出	1,028,553	0	0	0
特別収入	1,028,553	1,028,553	0	0	繰入金支出	0	0	0	0
雑収入	382,272	242,669	134,773	4,830	予備費	0	0	0	0
前期繰越差額	19,466,376	4,917,005	12,988,692	1,560,679	次期繰越差額	21,362,929	3,016,483	13,919,716	4,426,730
合計(B)	89,786,853	22,231,359	48,021,256	19,534,238	合計(B)	89,786,853	22,231,359	48,021,256	19,534,238
予算額(A)	82,146,000	22,557,000	43,389,000	16,200,000	予算額(A)	82,146,000	22,557,000	43,389,000	16,200,000
差異(A-B)	△7,640,853	325,641	△4,632,256	△3,334,238	差異(A-B)	△7,640,853	325,641	△4,632,256	△3,334,238

創立20周年記念事業会計収支決算

(単位円)

科目	予算額	決算額	差異	備考	科目	予算額	決算額	差異	備考
繰入金収入	1,000,000	1,000,000	0	振興基金取崩収入	事業費	105,000	103,840	1,160	作品展会場借上等
雑収入	1,000	355	645		事務局費	297,000	269,059	941	臨時職員賃金等
前期繰越額	0	0	0		次期繰越額	599,000	600,456	△1,456	
合計	1,001,000	1,000,355	645		合計	1,001,000	1,000,355	645	

円支出しました。なお会員数については、法人・個人会員合計で一、五〇一人、前年比三二二人の増でした。

平成九年度の事業計画は、定款の定めによる事業を前年同様実施しますが、本年は当協会の創立二〇周年でこの記念事業との関連を考慮し次のように計画しています。

- 一 道立美術館の事業活動に対するボランティアの協力
- 二 道立美術館等の事業活動に対する援助協力(二〇周年記念事業と関連)
- 三 美術館観覧拡大への協力
- 四 美術館普及活動への協力

- 五 美術講座の実施
- 六 「つとよい97」の実施
- 七 子供の青空写生会・作品展の実施
- 八 美術視察研修旅行の実施
- 九 図録・絵はがき等の作成・頒布
- 一〇 「美術館協力会賞」の贈呈
- 一一 会員の拡大
- 一二 創立二〇周年記念事業の実施(別記参照)
- 一三 売店・駐車場の経営

平成九年度の収支予算は、表二のとおり「収入の部」では、主なものとして、会員拡大関係で会費収入増を見込み、二〇周年記念事業のために美術振興基金を取崩して充当、駐車場会計で前年実績を勘案し収入増を見込んでおります。

「支出の部」の事業費では、ボランティア活動費や広報関連諸経費を増額、管理費で事務所移転後の諸経費増を見込み、従来実施してきた関係美術館への助成を廃止。新たに、当協会と共催を希望する美術館事業に共催負担する等が主なものです。

(表2) 平成9年度収支予算総括表

(単位千円)

区分 会計別	収入の部					支出の部				
	科目	予算額	前年度予算	差異	備考	科目	予算額	前年度予算	差異	備考
一般会計	基本財産収入	60	120	△60		(事業費)	(12,195)	(12,605)	(△410)	
	会費収入	16,020	14,460	1,560	法人・個人等年会費	美術活動費	11,425	11,310	115	会員観覧料・V活動費
	事業収入	1,000	1,500	△500	美術講座受講料	美術講座費	570	1,095	△525	謝金、資料作成等
	寄附金収入	10	10	0		美術館研修費	200	200	0	コーディネーター旅費
	繰入金収入	10	10	0		管理費	7,066	4,816	2,250	運営管理費
	特別会計	7,585	1,380	6,205	振興基金取崩受入	特定預金支出	7,395	1,380	6,205	20周年記念会計
	雑収入	85	160	△75		予備費	250	500	△250	
	前期繰越金	3,000	4,917	△1,917		繰越収支差額	864	3,256	△2,392	
	合計	27,770	22,557	5,213		合計	27,770	22,557	5,213	
	特別会計	事業収入等	30,008	30,025	△7	売上収入	事業費等	29,272	28,493	779
前期繰越差額	13,900	13,374	526		次期繰越差額	14,636	14,896	△260		
合計	43,908	43,389	519		合計	43,908	43,389	519		
駐車場会計	駐車場収入等	15,902	14,640	1,262	駐車場使用料	事業費等	17,886	14,484	3,402	管理委託・土地借上料等
前期繰越差額	4,400	1,560	2,840		次期繰越差額	2,416	1,716	700		
合計	20,302	16,200	4,102		合計	20,312	16,200	4,102		
総合計	91,980	82,146	9,834		総合計	91,980	82,146	9,834		

創立二〇周年記念事業については、平成八年四月二十五日設置された「二〇周年記念事業推進委員会」(構成は、協力会役員全員とボランティア)は、協力会役員全員とボランティア(各部々長)で鋭意検討され、先般の総会で承認決定されたものです。(主な事業の内容本号四頁掲載)この会報が皆様のお手元に届く頃には

創立20周年記念事業会計収支予算

(単位千円)

科目	予算額	前年度予算	差異	備考	科目	予算額	前年度予算	差異	備考
繰入金収入	7,395	1,000	6,395	振興基金取崩受入	事業費	8,137	105	8,032	謝金、資料印刷
会費収入	1,715	0	1,715	記念パーティ会費	事務局費	1,122	281	727	記念パーティ代、記念品等
補助金収入	750	0	750	文化財団助成金	予備費	1,200	0	1,200	臨時職員賃金等
雑収入	2	1	1		次期繰越差額	0	599	△599	
前期繰越額	599	0	599		合計	10,461	1,001	9,460	
合計	10,461	1,001	9,460						

- 既に四つの事業が終わっており、事業計画は次のとおりです。
- ◎事業の目的  
創立二〇周年を記念するとともに、会員の拡大と、当協力会の知名度を高めること。
- 一 二〇周年記念事業キャンペーンパンフレットの作成・配布 (済み)
  - 二 子供の青空写生会・作品展の開催 (済み)
  - 三 美術のみの市の開催
  - 四 道立近代美術館所蔵名品図録の発行 (現在近美売店で発売中)
  - 五 美術館協力会賞の贈呈  
学生美術全道展の優秀製作者に贈呈する。
- 一〇月二二日(日)  
札幌市民ギャラリー(南2東6)  
・賞状のほかに副賞として当該年度に実施の海外美術視察研修旅行(一〇泊二日)に無料招待。
  - 特別講演会の開催
  - 二〇周年記念祝賀パーティ開催
  - 永年協力者の表彰(四九名)
  - 祝賀パーティの席上で行う
  - 「近美コレクションの精華」展
  - 美術秀作映画会の開催

「役員」の選任

六月四日の通常総会で役員補充改選がありました。

専務理事 大菅生明氏 (監事)  
監事 藤井勇吉氏 (新任)

編集後記

■会員の輪を拓けるのが、わたし達の「ねがい」です。20周年記念事業の目的もその「ねがい」です。この記念事業に会員皆さんの積極的参加をお願いします。

いしすと共に、お一人の会員が、友人・知人のお一人をお誘い頂ければ、倍増の三、〇〇〇人になります。是非協力をお願いします。申込みは、四月と六月にお送りしたリーフレットを「活用願いたく、失くしたり、不足の場合は、アルテピア事務局(011-644-4025)まで……。

■本号からA4版に  
これ迄の会報はB5版横書きでしたが、字が小さい・読みにくい、また各種会報や広報紙・外国文献・教養雑誌などはA4版が主流であること、そして文章は縦書きが読みやすい等々のご意見があり、以前から検討を重ねていたものです。  
この31号は、20周年記念事業の関係もあり4頁増ですが、各美術館の年間スケジュールを一覧にするなど工夫してみました。内容充実のため、会員皆さんの積極的な投稿とご意見をいただきました。広報部一同お待ちしております。

美へのかけ橋

# アルテピア会員募集

私たちが好きな絵を

～1977年設立主旨～

art art art 自分の見たい絵を自分で手に入れませんか art art art

美術館は、心を豊かにし共に楽しむところです

何時でも……気軽に……親しむ機会をより多く

しようと支援している「アルテピア」にお友達

お知り合いをお誘いしませんか

きっと、心のぬくもりと、楽しい時をもつこと

ができるでしょう

- 協力会（アルテピア）の目的は、美術館に協力し、美術の普及振興に努めることです。
- 入会 このアルテピアの目的に賛同される方は、どなたでも入会できます。
- 会費 個人会員＝年額10,000円 法人会員＝年額30,000円（1口）  
賛助会員（高校生・大学生）＝年額3,000円
- 特典 (1) 道立美術館（近美・三岸・旭川・函館・帯広）、札幌彫刻美術館・芸術の森美術館・同野外美術館の常設及び館主催の展覧会は会員証の提示で本人及び同伴者1名が無料で美術鑑賞できます。  
(2) 道立近代美術館の売店とレストランご利用のとき、会員証を提示しますと割引が受けられます。（但し図録、書籍を除く。）  
(3) 協力会企画の美術研修旅行（道内外、海外）の優先参加と割引があります。  
(4) 美術館行事案内や機関紙、会報等美術資料の送付があります。
- 入会手続きとお問合せ  
電話等で「入会希望又は推せん」のご一報で、折返し「申込書と会費の郵便振込用紙（手数料協力会負担）」をお送りします。会員証は振込送金次第郵送でお届けします。なお、道立近代美術館2階売店でも取扱っており、会費を添えて申込みますと、商品をご覧の間に会員証が出来上り、その日からご利用できます。  
お問合せは、協力会事務局に願います TEL/FAX 011-644-4025